

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2021年11月29日

事業所名:デイサービス シュシュ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を遵守したスペースを確保しています。来年度からオープンデイを再開したいと考えています。	89%の方から満足いただいています。	コロナ禍で施設内に入っていた機会が減少しています。現状の対応を継続していくとともに、少しずつ、コロナ禍以前のように入っていた機会を設けていきます。
	2 職員の適切な配置	法令を遵守した職員配置をしています。作業療法士や言語聴覚士、介護福祉士、理学療法士が配置されています。	94%の方から満足いただいています。※各専門職に対する褒めの言葉もたくさんいただきありがとうございました。	OTやSTの配置を前年度よりも増やしています。今後もニーズに合わせて資質を高めていけるよう研鑽していきます。また、スタッフの紹介などでもできるように工夫していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	車いすでの移動に対応可能な配慮を行っています。	81%の方から満足いただいています。	現状の対応を継続していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	感染予防対策も含め、毎日数回の清掃を行っています。	91%の方から満足いただいています。※コロナウィルス対策についてご評価いただいています。	感染予防対策も含め、現状の対応を継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティングやカンファレンスを実施し共有しています。		現状の対応を継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	法人内での評価を実施し、厳しい目での指摘を活かしながら質の向上に努めています。		現状の対応を継続していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月一回以上の研修を実施しています。		より資質を高められるよう研鑽していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童発達支援管理責任者が中心となり、作成や設定を行っています。その内容を全スタッフで共有しています。	100%の方から満足いただいています。※お褒めの言葉もたくさんいただきありがとうございました。	より資質を高められるよう研鑽していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成			
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援管理責任者が中心となり、作成や設定を行っています。その内容を全スタッフで共有し支援しています。	100%の方から満足いただいています。※お褒めの言葉もたくさんいただきありがとうございました。	より資質を高められるよう研鑽していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムのリーダーを担う職員がチームとなり立案しています。		より資質を高められるよう研鑽していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	曜日によっての違いはありますが、夏休みなどの長期休みには、運動量や課題の難易度を調整しています。	97%の方から満足いただいています。※お褒めの言葉もたくさんいただきありがとうございました。	現状の対応を継続していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	当事業所の活動プログラムは固定化されていますが、プログラムの内容は固定化しないよう工夫しています。繰り返しの学習が必要なSSTなどにおいては、内容を固定化させています。意義を理解していただけるように努めることが必要だと考えています。		現状の対応を継続していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動前に打合せを行っています。当日の活動内容については、業務表に毎日の活動プログラムにおける目的や留意点、申し送り事項を、活動プログラムのリーダーを担う職員が記載し、全職員が開覧できるようになっています。役割分担も記載しています。		現状の対応を継続していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に打合せを行っています。当日の支援の振り返りを行い、記録をしています。		現状の対応を継続していきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回記録を行っています。専門職がアセスメント・モニタリングも行っています。		より資質を高められるよう研鑽していきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎回、専門職がモニタリングを行っています。必要に応じて計画の見直しを行っています。		より資質を高められるよう研鑽していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現在、児童発達支援管理責任者が参画しています。		より資質を高められるよう研鑽していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	必要な場合は、情報交換を行っています。大半の場合は保護者を通じて行うことが多いです。		現状の対応を継続していきます。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	必要な場合は、情報交換を行っています。大半の場合は保護者を通じて行うことが多いです。		現状の対応を継続していきます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在、保護者や園、当事業所のニーズがそろった時には積極的に進めています。		現状の対応を継続していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	当事業所の利用が終了する前に担当者会議が開催される場合は行っています。		現状の対応を継続していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要があれば行う予定です。		現状の対応を継続していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当事業所が提供させていただきたい療育スタイルや、求められているニーズから考え、今後もそういった交流や活動の共有は予定していません。	大半の方からニーズがありませんでした。	今後も予定はありません。
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在、行事等は実施していません。	大半の方からニーズがありませんでした。	今後も予定はありません。	
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	実施しています。指導員によって、説明の仕方によりばらつきがあるとのこと指摘をいただいておりますので、改善していきます。	100%の方から満足いただいています。	より分かりやすい説明ができるよう研鑽していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施しています。	98%の方から満足いただいています。	より分かりやすい説明ができるよう研鑽していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	保護者からのご希望やご相談があった場合に支援させていただいています。	40%の方から満足いただいています。	現状の対応を継続していきます。
	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回の利用後に説明をさせていただいています。年に一回の懇談も設けています。	94%の方から満足いただいています。 ※お褒めの言葉や感謝のお気持ちもたくさんいただきありがとうございました。	現状の対応を継続していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からのご希望やご相談があった場合に支援させていただいています。	86%の方から満足いただいています。 ※お褒めの言葉や感謝のお気持ちもたくさんいただきありがとうございました。	現状の対応を継続していきます。より細やかに対応できるよう資質を向上していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士が顔を合わせる機会はありません。来年度からオープンデイを再開したいと考えています。	大半の方からニーズがありませんでした。	今後も予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	責任者の業務として、声になって挙がってこない苦情も察知して対応できるように記録を作成しています。	64%の方から満足いただいています。	誠実に対応し続けていきたいと考えています。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	毎回の利用時に連絡帳に活動の記録を複写してお持ち帰りにいただいています。	97%の方から満足いただいています。	より伝わりやすい記録や説明ができるよう職員全体で研鑽していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月1回、活動概要や予定を記載したシュルターを発行しています。	64%の方から満足いただいています。	現状の対応を継続していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。また、個人情報に係る研修も毎年実施しています。	86%の方から満足いただいています。	現状の対応を継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは全職員がいつでも閲覧できるようにしており、マニュアルに係る研修も毎年実施しています。保護者の方にも閲覧していただける状況にはなっていません。	75%の方から満足いただいています。	現状の対応を継続していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的実施できるよう今後も取り組んでいきます。	23%の方から満足いただいています。	分からないという方が多かったので今後は日時もシミュレーターに記載します。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に係る研修は毎年実施しています。		現状の対応を継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束をおこなっていません。		今後も身体拘束をせずに支援をしていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始時に保護者からお申し出いただいています。		現状の対応を継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	インシデント・アクシデントの報告書を作成し、全職員が閲覧できるようになっています。また、責任者の業務として、責任者がインシデント・アクシデントと捉えた事例を記録し業務改善につなげています。		現状の対応を継続していきます。
	<p>【たくさんのお褒めの言葉や感謝のお気持ちをいただき、ありがとうございました。一部ご紹介させていただきます。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かく見守ってもらっていること、心から感謝申し上げます。シュシュさんに通所できている私ら家族は幸せです。 ・学校が変わり、学校の連携会議に出席くださり、学校の先生からもシュシュの先生のスキルにとても絶賛でした!! ・いつもあたたかく見守ってくださり感謝しています。 ・お迎えのときなど、先生に相談にのってもらえ、的確なアドバイスが嬉しい。 ・行き渋ることもありますが、長く通えたらなと思っています。いつもありがとうございます。 ・いつも楽しみにしていて喜んでいきます。 ・家庭ではどう教えて良いかわからない事を指導して頂けるので助かります。 			